

新中期計画

(2006年度～2008年度)

2006.3.2

NECリース株式会社

- 1. 中期的事業戦略の前提**
- 2. 新中期計画骨子**
- 3. プロセスマネジメントと目標**

1. 中期的事業戦略の前提

(1)経営理念



**NECリースは、お客様の発展に貢献すべく、
リースを中心とした質の高い各種サービスを
提供することにより、豊かな循環型社会の
実現に向けて前進します。**

(2)-1 事業環境：中期的マクロ見通し

マクロ環境

■ 緩やかな景気拡大基調の継続

→ 実質GDP3%程度、設備投資5%程度の成長

リース業界

■ 景気拡大に伴い前年比プラス転換

→ 当面緩やかな成長期待

ICT業界

注) ICT : Information and Communication Technology (情報通信技術)

■ 業況底打ちと次なる成長期待

→ ICT関連投資の回復とSMB市場の成長期待

→ IT投資促進減税終了

➡ **攻めの経営が必要**

(2)-2事業環境：当社経営環境の変化

■東京証券取引所株式公開、一部昇格の実現

→05年2月10日：東証第二部上場

→06年3月1日：同第一部指定

■CSR体制の拡充

→CSR委員会設置

■環境経営に対する評価向上

→グリーン購入大賞「審査員特別賞」

→日経環境経営度調査 金融部門第2位



■戦略事業の基盤構築

→小口リース事業年間成約高200億円達成

→non-ICT戦略の基幹となる設備機器営業部設置

■人事制度・部門評価制度改革実施

(2)-3事業環境：認識すべき課題

●金利上昇局面への対処

●リース市場の成熟化進行

→競争環境は厳しく優勝劣敗の差が明確に

●ICT市場(NEC戦略)の変化

→ハードからソフト、スタンドアローンからネットワーク

●リース会計制度変更の可能性



✓営業力強化による収益性向上

✓対NEC戦略の強化

✓事業多様化戦略の促進

(3)-1 新中計の考え方:コンセプト

「創業30周年(2008/11)を目指して」

**「強固な事業・顧客・収益基盤とはつらつとした
企業文化を構築し、顧客・株主・社会の信頼を
得る業界トップ・クラスの地歩を確保する。」**

① プロセス重視

- ・短期刈り取り型から中期的営業力強化に

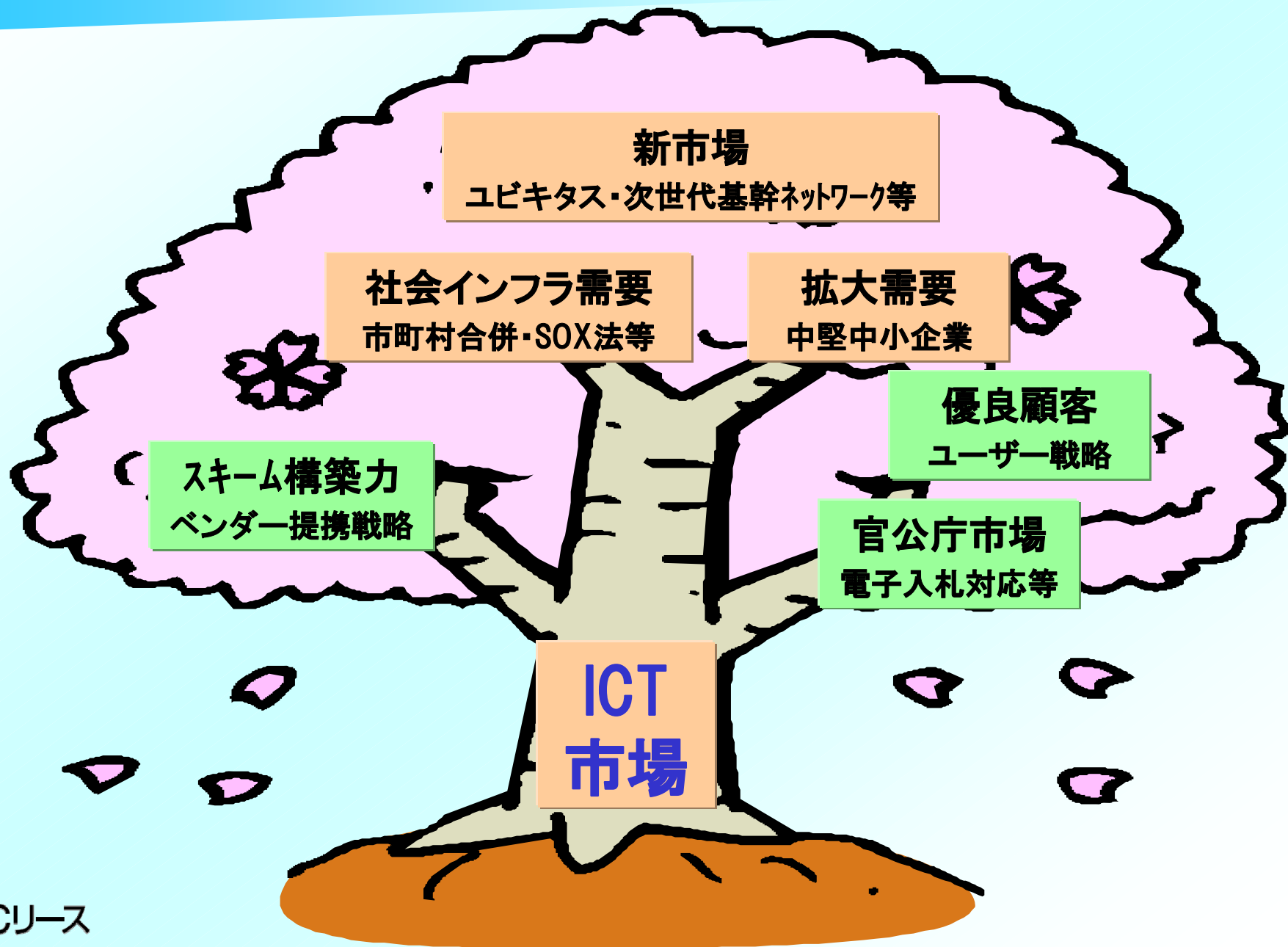
② マトリクス・クロスセリング

- ・限られたリソースで最大のリターン → 協働の枠組み導入

③ リソース・プランニング

- ・金融事業の成長は「人的リソース」の有効活用が全て

(3)-2新中計の考え方:コアコンピタンスと戦略



(3)-3新中計の考え方:フレームワーク

1.営業戦略

- a.NECグループとの協創
- b.蓄積された知財・資産の活用
- c.事業ポートフォリオ拡大への挑戦

2.財務戦略

3.経営・事業・経費効率化戦略

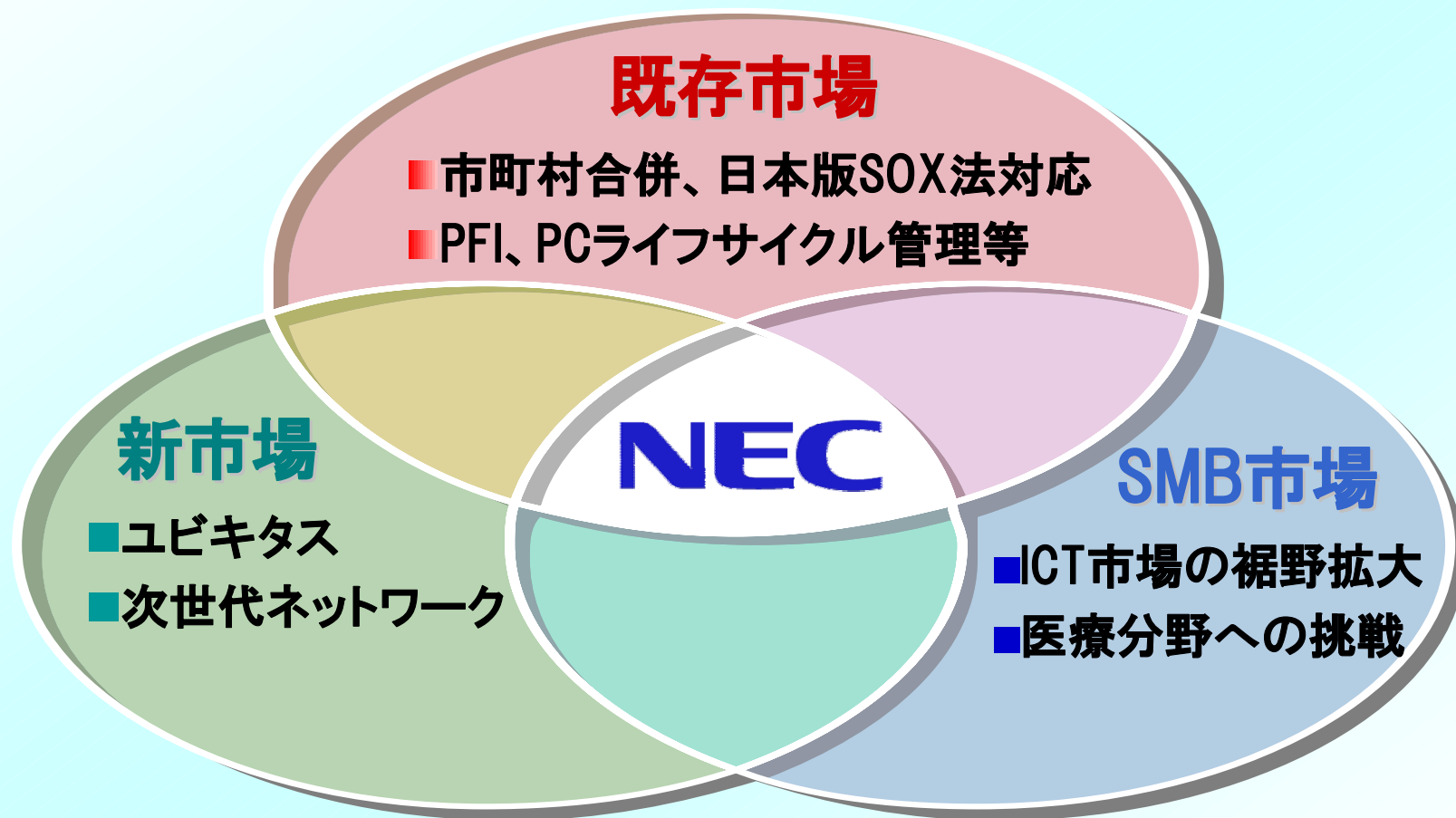
4.CSR経営の更なる向上



2.新中期計画骨子

(1)営業戦略 a.NECグループとの協創

「NECグループ成長戦略を協創するパートナーへ」

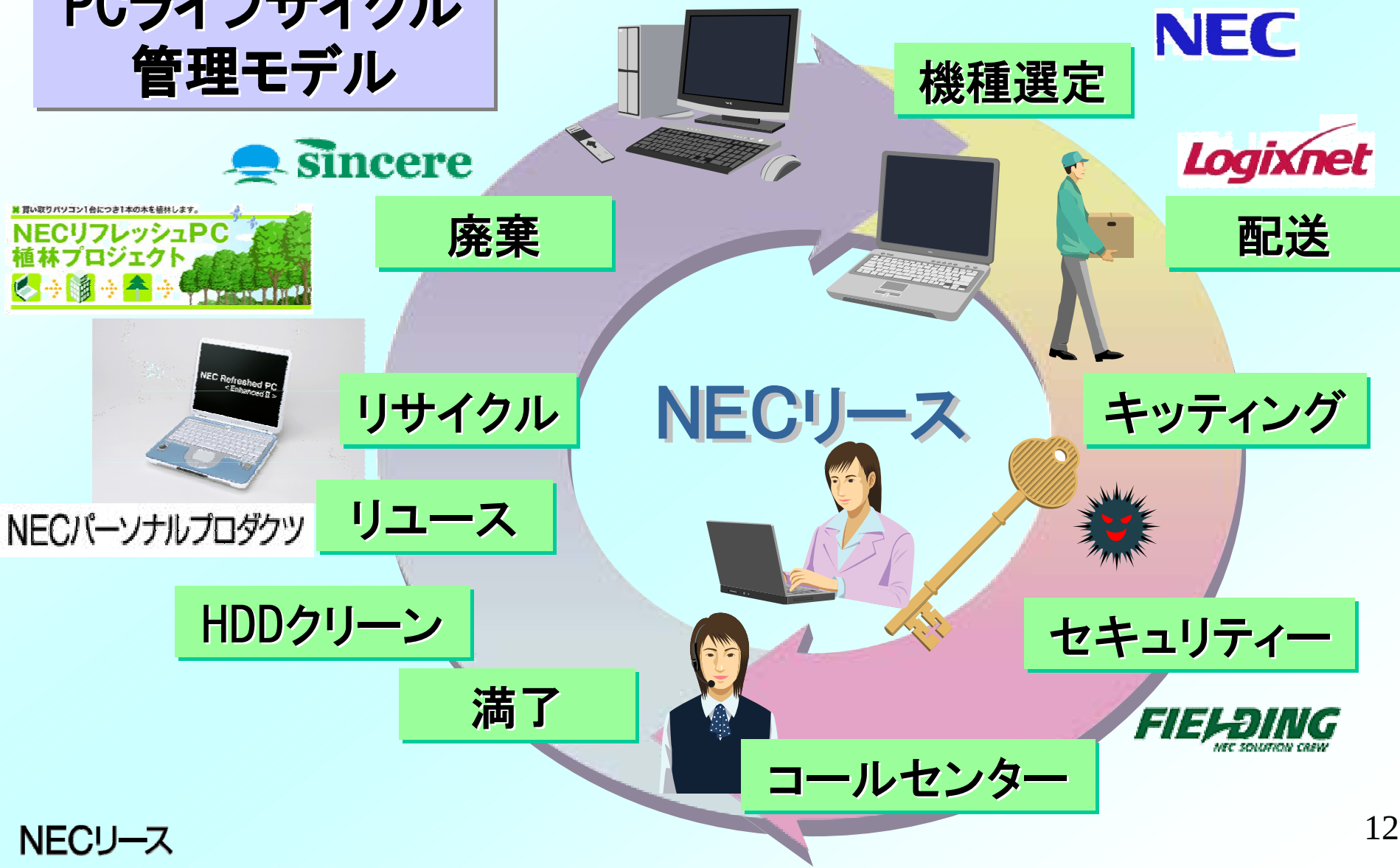


- タイムリーなサービス提供
- 販売戦略への参加(提案力強化)

▶ **戦略パートナー**

(1)営業戦略

PCライフサイクル 管理モデル



(1)営業戦略

具体的施策

- 機動性の高い営業組織体制への組み替え
- マトリクス体制の構築とクロスセリングの推進
- 営業支援体制の拡充
- 審査等のスピードを重視したサポート体制強化
- 経験者採用の促進



スピードと提案力強化

(1)営業戦略 b.蓄積された知財・資産の活用

NECグループとの協働で培われた知財・資産

優良な顧客基盤

▶ クロスセリングによるビジネス展開

ファイナンス・フィービジネス

官公庁市場へのアクセス

▶ 電子入札制度等の積極的活用

会計制度変更への対応

ファイナンススキーム構築力

▶ サプライヤーチャネルとの相乗効果

ハンダー提携プログラム

(1)営業戦略

ベンダー提携プログラムの拡大



(1)営業戦略 c.事業ポートフォリオ拡大への挑戦

小口リース事業の更なる強化

- 首都圏から全国展開へ(まず関西・中部)
- 新規チャネル開拓による取引基盤強化

→ 年間成約高300億円への挑戦

新事業への取り組み

- 事業開発委員会設置

ex)Asset Based Lending 等

→ 08年度GP10億円の挑戦

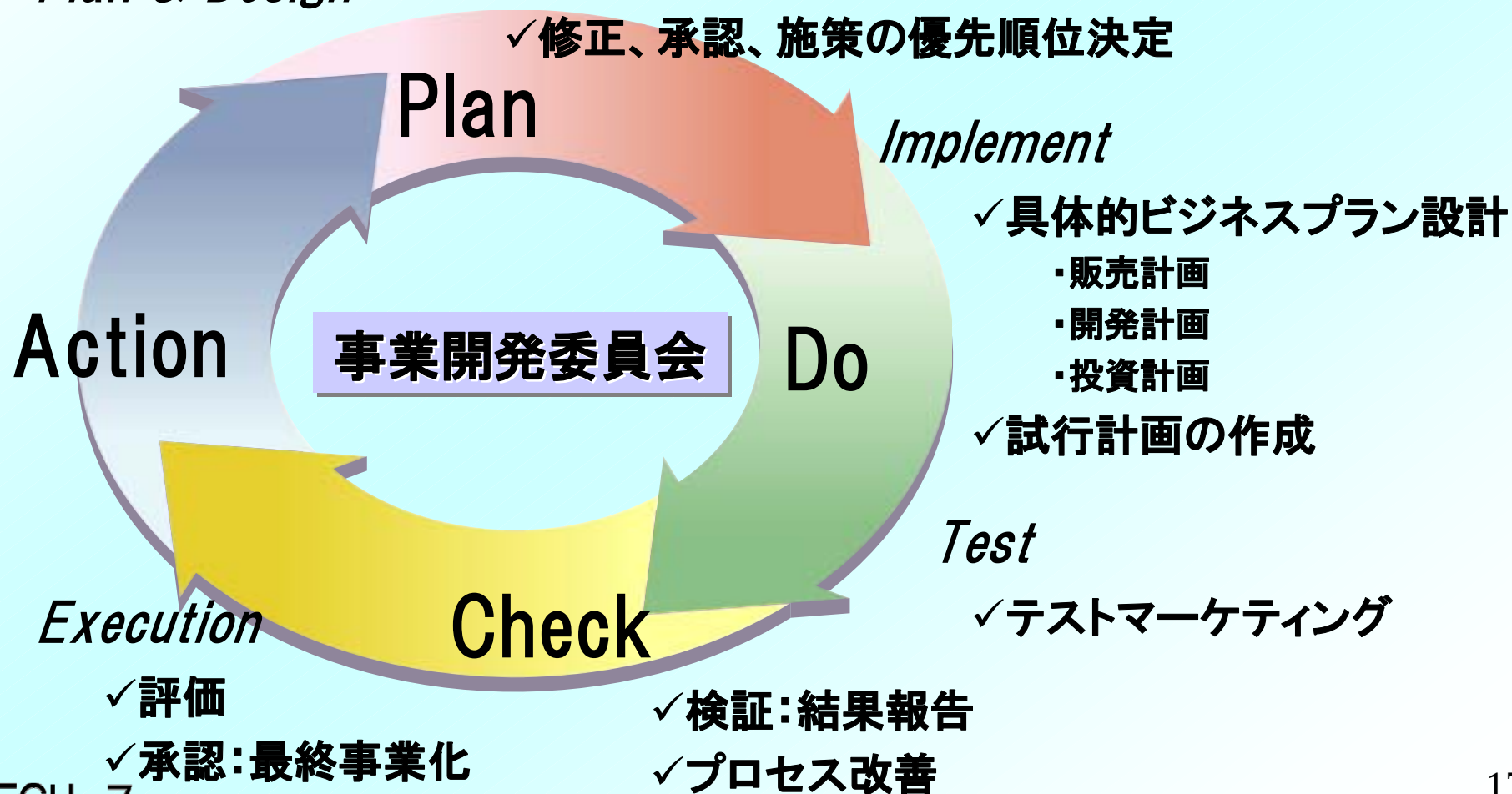


(1) 営業戦略

■ 新事業立ち上げのプロセス

- ✓ 発案: 企画のエントリー
- ✓ 調査: 事業性、市場規模、競争環境の調査
- ✓ 修正、承認、施策の優先順位決定

Plan & Design



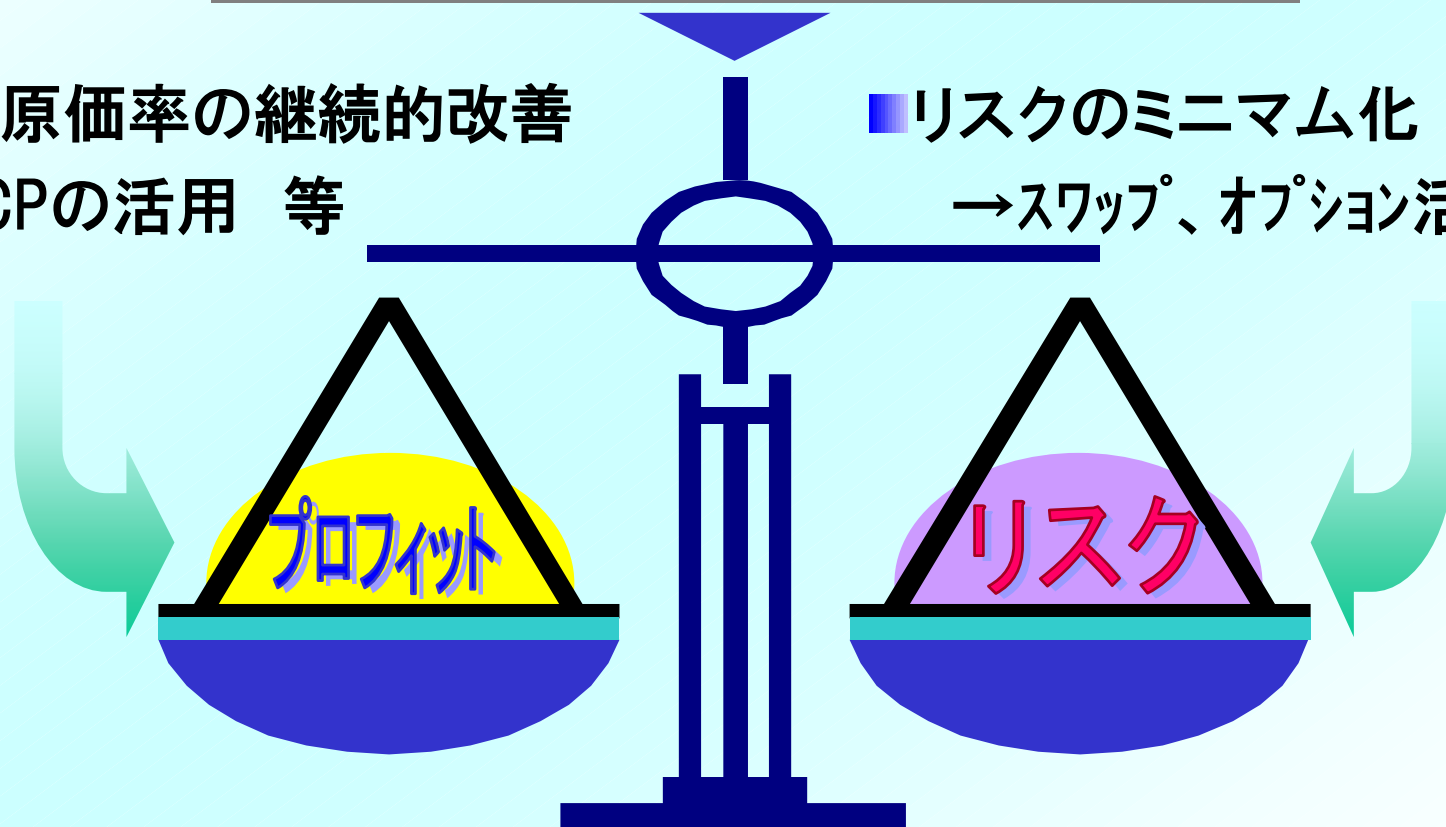
(2)財務戦略

「健全性と競争力あるリスクテイクのバランス実現」

新ALMシステム、金利RAMシステム

■資金原価率の継続的改善
→CPの活用 等

■リスクのミニマム化
→スワップ、オプション活用 等



※ ALM : Asset Liability Management
RAM : Risk Alarm Management

(3)経営・事業・経費効率化戦略

「プロフェッショナルな企業体質・文化の構築」

■経営構造の改善

- マトリクス組織体制の構築
- リソースマネジメントの強化

■経費改善活動

■OHRの改善

- ミドル、バックオフィスの事務効率改善
- 業務フローの見直し

(4)CSR経営の更なる向上

「実効性のあるCSR活動への取り組み」

- CSR推進委員会、CSR推進部によるCSR活動の展開
 - お客様相談窓口設置等、CSR活動の具体的アクション検討
 - 商法改正、日本版SOX法を見据えたリスクマネジメント実施
 - 独自の社会貢献活動展開
- コーポレートガバナンスの継続的向上
 - グループ外社外取締役・監査役登用の検討
- 社会的信頼性の向上
 - ISO27001取得への挑戦
- 環境経営の継続拡大

(4)CSR経営の更なる向上

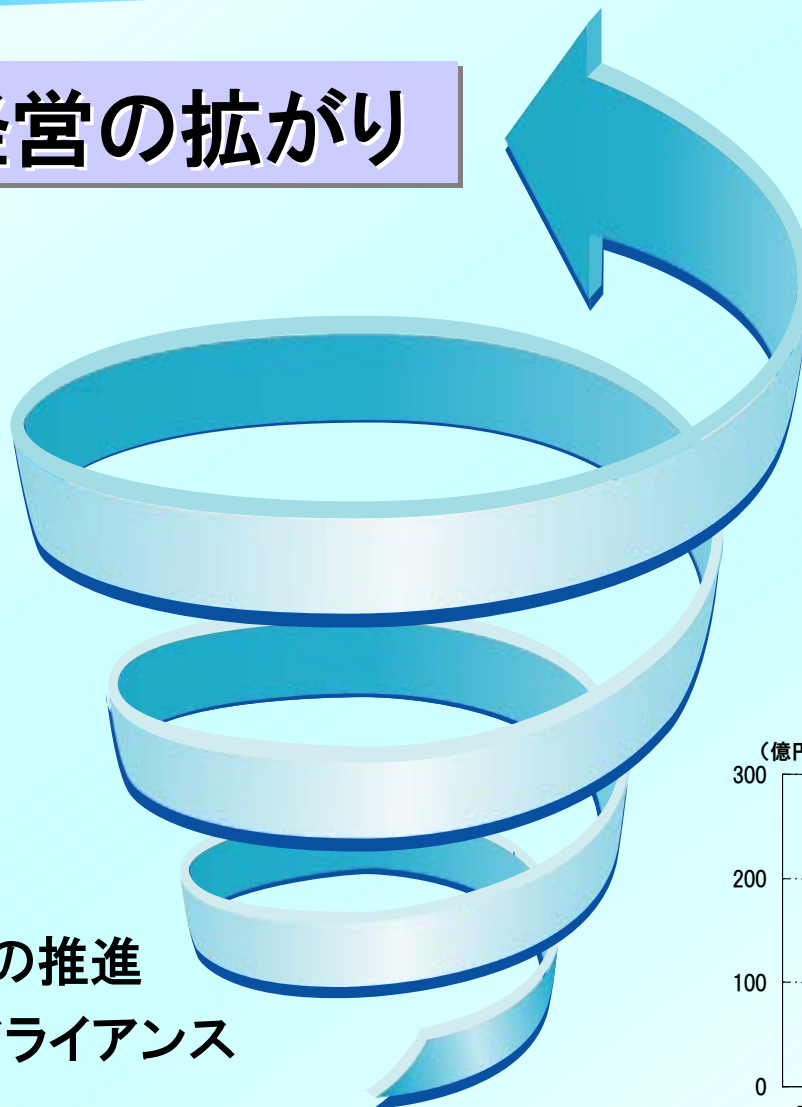
環境経営の拡がり

資金原価低減

- 日本政策投資銀行
 - ・環境格付け取得
 - ・特別融資実施

ビジネス

- エコリースの推進
- リフレッシュPC事業の推進
- 環境ベンダーとのアライアンス

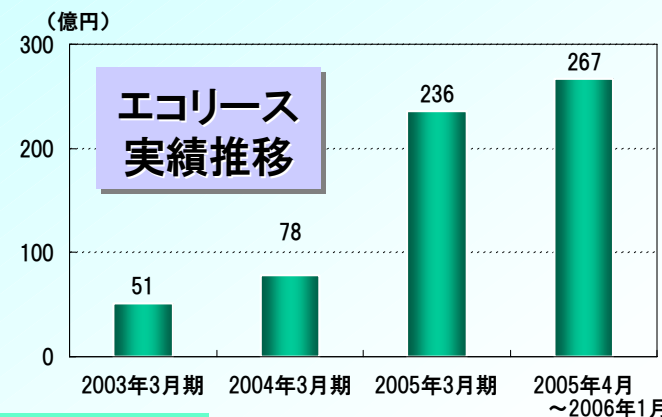


社会的評価

- 日本環境経営大賞
優秀賞
- 日経環境経営度調査
金融第2位
- グリーン購入大賞特別賞

社会貢献

- 植林プロジェクト参加



経営理念:リースは循環型産業

3.プロセスマネジメントと目標

(1)プロセスマネジメント

中期計画実現に向けたプロセス管理システム導入

➡ 有言実行のための仕組み

ステアリング委員会

事業開発委員会

- 新事業の検討、モニタリング

営業戦略会議

- 営業戦略・施策の具体策検討

- 事業執行の過程で生じる課題を解決するための個別プロジェクト

- 中期計画、予算、部門評価の一元管理を目的とし、それぞれの立案、検討、モニタリング、分析、評価を行う

エリア再編委員会

＊ ＊ 委員会

(2)計数目標

リース業界トップクラスの収益性目指して

営業資産残高	7,600億円以上
経常利益	120億円以上
経常利益率	4.0%以上
ROA	1.5%以上
ROE	10.0%以上
株主資本比率	8.5%以上

注：ROA=経常利益÷総資産平均残高
ROE=当期純利益÷株主資本平均残高

(3)株主還元方針

当社は、事業の安定的成長を背景にシェアホルダーに対する積極的利益還元を目指す



◇中期目標:配当性向20%

05年度、一部昇格記念配当4円を予定

◇株主優待制度導入(06/3末株主より)

1単元(100株以上)保有株主に対し、1人につき2,000円程度を贈呈

本資料に記載されている株主・投資家向け情報は、投資勧誘・保証を目的として作成されたものではありません。実際に投資を行う際は、ご利用者ご自身のご判断において行われるようお願い致します。

本資料に記載されている当社の計画、戦略および業績見通しは、将来の予測であって、リスクや不確定な要因を含んでおります。

また、本資料に記載されている経営目標は予想ではなく、将来の業績に関する経営陣の現在の予想を反映したものではありません。むしろ、経営陣が事業戦略の実行を通じて達成しようとする目標であります。

実際の業績等は、さまざまな要因により、見通し等と大きく異なる結果となりうることをあらかじめご承知願います。実際の業績等に影響を与えうる重要な要因としては、当社の事業領域を取り巻く経済情勢及び規制や法令の変更、潜在的な法的責任、当社のサービスに対する需要変動や競争激化による価格下落圧力などがありますが、これら以外にも様々な要因がありえます。また、世界経済の悪化、世界の金融情勢の悪化、国内外の株式市場の低迷などにより、実際の業績等が経営目標その他の見通しと異なる結果となる可能性もあります。

当社による将来予測に関する記述は、その日現在のものであることをご承知おきください。新たなリスクや不確定要因は随時生じるものであり、その発生や影響を予測することは不可能であります。また、リスクや不確定要因があるため、将来予測に関して記述されていることが実際には起こらない場合もありえます。これらの記述に全面的に依拠することは控えるようお願い致します。